

# 第2回研究会における議論のスコープ

資料1

開催時期	検討項目(案)
7/14(火) 第1回研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の検討内容及び目標について</li> <li>・コベネフィットプロジェクト抽出に向けた調査について</li> <li>・セミナー開催等の普及啓発方法について</li> </ul>
10/15(木)第2回研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コベネフィットプロジェクト抽出の調査結果について</li> <li>・廃棄物業者の取り組みのJ-VER化について</li> <li>・試行的排出量取引制度への廃棄物業者の参加促進について</li> </ul>
10月～11月	全国3カ所(東京、大阪、北九州)でセミナー開催
第3回研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・自治体レベルの取り組みのJ-VER化について</li> <li>・試行的排出量取引制度への廃棄物業者の参加促進について</li> </ul>
第4回研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J-VER化を目指す取り組みの温室効果ガスの削減量把握手法・技術等について</li> <li>・コベネフィット対策のJ-VER化促進に係る支援施策について</li> </ul>

第1回研究会資料を基に作成

## 第1回研究会(主なご指摘)

- ・コベネプロジェクト抽出には体系的な整理が必要ではないか
- ・廃棄物業者の意見を踏まえて検討をすべきではないか
- ・廃棄物業者が抱える課題を整理し、コベネプロジェクトの推進方策の検討に活かすべきではないか 等

- ・温暖化対策に係る廃棄物業者の取組の現状、課題等の調査
- ・温室効果ガス削減や3R等推進のポテンシャルのある施策の体系的整理
- ・コベネフィットの観点からの施策の整理と評価
- ・J-VER検討にあたっての具体事例の収集と調査
- ・J-VER化の可能性の評価



第2回: 廃棄物業者による取り組みの体系的整理、J-VER化の可能性評価

市民・自治体レベルの取り組みの検討(第3回研究会)

第1回研究会のご指摘を踏まえた対応

# 第2回研究会での主要論点

1. 廃棄物業者が置かれている現状、抱える課題は十分に把握されているか？ 【資料3】
  - 把握されたコベネフィットプロジェクトを推進する上での課題は、どのように解決されるべきか？
2. 廃棄物・リサイクル分野のコベネフィットプロジェクトについて体系的な整理がなされているか？ 【資料4】
  - コベネフィットプロジェクトは十分に網羅され追加すべきものはないか？
  - また抽出にあたって、GHG削減や3R等推進の観点から行った評価は妥当か？
3. J-VER等の手法を用いることにより、促進すべきプロジェクトは何か？ 【資料5、6】
  - J-VER化の検討を行うコベネフィットプロジェクトについて抽出の考え方は妥当か？
  - クレジットとして認証する方法論の検討が可能と考えられる取り組みは何か？また優先的に対応すべき取り組みは何か？
4. 抽出されたコベネフィットプロジェクト候補について、今後どのような対応を図るべきか？
  - 廃棄物業者に向けてどのような支援策が有益か？

